

このまちの見る夢が、
わたしの夢です。



嘉麻市上西郷より嘉穂三山を望む

もくじ

ごあいさつ	02	リスク管理体制・ コンプライアンス体制	17
いいしん100周年に向けて	03	お客さまの保護について	19
企業理念	05	営業のご案内	23
中小企業の経営支援に 関する取り組み	06	投資信託のご案内	26
地域経済活性化への 取り組み	07	手数料のご案内	28
おもな事業内容・ おもな業績	09	サービスのご案内	30
組織	11	資料編	32
総代会	13	パーゼルIII	55
信金中央金庫・ クローバーしんきんグループ	16	あゆみ	63
		索引	64
		店舗のご案内	65



ごあいさつ



飯塚信用金庫 理事長
緒方 隆博

皆さま方には、平素より飯塚信用金庫に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年もここに、「いいしん」の経営内容や活動状況等を取りまとめたディスクロージャー誌「2021 IISHIN DISCLOSURE」を発刊いたしました。

ご覧いただき、当金庫をさらにご理解いただければ幸いに存じます。

2020年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、2度にわたる緊急事態宣言が発出されるなど、外出自粛や休業要請等、経済活動が大幅に制限され、私たちの生活様式も一変した年となりました。

こうした中、政府は持続化給付金や実質無利子・無担保融資といった様々な支援策を講じ、地域経済が好転するまで経営を維持できるようにその資金繰りを支えていくことといたしました。

当金庫の企業理念「地域を創造するトータルコア企業」には、「地域を支える事業者を金融面から支援することにより、地域の発展に貢献する」との思いが込められております。

その企業理念のもと、当金庫ではコロナ対策資金に積極的に取り組み、件数で約1600件、金額で約200億円の申し込みにお応えし、新規取引事業者様も約500先の増加となりました。

2021年度は、政策支援やワクチンの普及によりコロナ禍以前の社会経済活動が復活することが期待されていますが、未だ収束の見通しが立たないのが実情です。

そのような中、私たち飯塚信用金庫は、地元の金融機関として引き続きお客様の実態把握に努め、寄り添いながら、今後の事業展開に関する考え方を共有し、経営課題の解決に向けた情報提供等を積極的に行い、お客様と一体になって伴走支援を行っていくこととしています。

2021年度は、「いいしん第5次中期計画」2年目の年となります。中期計画の基本戦略として、効率的な店舗配置と適正人員の見直し、業務プロセスの効率化および働き方改革への対応を掲げ、昨年度は22年ぶりの新規出店となる福岡地行支店を出店いたしました。また、山内出張所を初めに、以後鯉田支店、菅牟田支店、枝国支店に昼休み休業を導入いたしました。

山内出張所につきましては今年度4月に新飯塚支店内に移動し店舗内店舗として活動しております。

飯塚信用金庫は、地域の皆様の成長・発展に資するよう運命共同体として頑張っております。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。